

「おいのくりこと 第三号」

文久元年八月四日、大風ニテ雨交リナリ、昼前裏ノ町ノ方ニア
タリテ一東引御堂町―鐘太鼓音スル故、何事ヤラント

思フ程ニ大潮ニ成テ竹屋新開ノ堤防ヲ打越、田畠大損シナ
リ、夫故鳴物ニテ人ヲ招キ集ルナリトノ事ナリ、此咄ノ内ニ流レ川へ
潮溢レ込、下流川辺ノ御家中屋敷辺モ股ヲ没スル位故、

六丁目ノ桑原氏心許ナクテ見舞ニ行シニ、川場筋ハ川ノ如
クナリシカトモ、六丁目辺ハ異状ナシ、大手筋ハ土地少高キ故力、夫ヨリ
草津村ハ大損ノ由ナレハ、早速見舞シニ風ハ格外ノ事ハ無リシ

力、大潮ノ為ニ住吉堤防決壊シ、新地ノ家屋ハ座上一尺
餘モ潮満上リテ小魚杯游泳セシ様ノ事、テ大損シ、尚蠣

田モ損シテ互ニ慾ニ喧嘩、今年中ニハ落着ニモ至ルマシト
ノ事、夫故松屋ノ三艘ノ蠣船ヲ二艘ニ減スヘシトノ事ナリ